



令和5年度 建設技術審査証明事業（下水道技術） —新規5技術，変更20技術，更新21技術，継続2技術—

令和5年度の第1回審査証明委員会が6月14日に本機構会議室で開催され、今年度の建設技術審査証明事業（下水道技術）に申請があった技術で、新規では5技術について審査を進めることが決定しました。

このほか、変更が20技術，更新が21技術，継続が2技術あり，合計48技術が審査されることになりました。



令和5年度 建設技術審査証明（下水道技術） 新規の依頼技術

No.	技術名称	副題	技術分類
1	楕円板レーキ型ろ過濃縮機	—	汚泥処理設備
2	サンドクリーンⅡ型	空気揚砂攪拌式沈砂洗浄装置	その他設備等
3	LC工法	下水道管きよの修繕工法	更生・修繕技術
4	クッツバ工法	下水道管きよの更生工法 —反転・形成工法—および取付管の修繕工法	更生・修繕技術
5	BSACコンクリート	アルミナセメントと高炉スラグをもちいた耐硫酸性コンクリート	防食技術

○審査証明方式の分類について

地方公共団体にとって有効な技術審査となるよう，本機構が審査基準等（評価項目，試験方法，要求性能等）を示し，その確認を行う「基準達成型」を平成27年度から導入しています。また，従来から行っている民間企業において研究開発された新技術の特長や用途などを依頼者の申請に基づき客観的に審査・証明を行う方式は「開発目標型」としています。